

池田・落語みゆーじあむ (池田市立上方落語資料展示館)

TAKE
FREE



9/18 決勝入場券付

三枝 円楽 二人会 ^{7/8}前売券発売!

第三回 社会人落語日本一決定戦 最新情報満載!

特別インタビュー 六代目 三遊亭 円楽



笑う、 円楽

かみ落語

KAMI RAKUGO
BIMONTHLY
MAGAZINE
2011 No.20

7-8

三枝

笑う、円楽

革命少年から落語家へ

東京であった70年安保の殆どの現場にいたんですよ。なんでも反対してね、ゲバやって、機動隊とも対峙したけれども、疲れ果ててね。メット脱いで、「はー何なんだこら」って。すごい高揚はしてんですよ、国家権力と戦ってるみたいな青臭さがあったさ、でふっと落語聴いたんだよね。で癒されたの。自分が革命なんかやらなくたって、ここにちゃんとユートピアがある。これを忘れなければ、日本人は大丈夫だ！と思ったのよ。

だから落語なんだよ。人が活き活きと生きて、悪さしたら怒ってくれる人がいて、助けてくれる人がいて、貧乏花見じゃないけれど、たくあんと大根もつてお茶飲みに行くようなバカバカしさがある。すごいものを作ったなと。

自分が疲れた時に癒してくれた落語にユートピアがあったから、もうこっち(学生運動)やめた。で、そこでまた師匠が、「やらないかい」って。そりやお願いしますってなる訳だね。ぼくの中では、その時代があって、色んなものがあざなう糸のように一本になってんですよ。

そのすごいものを作ってくれた日本の先輩たちがあるんだから、我々がそれを引き継いで、やりながら触ってって、感じてくれる何かを発信して、同じように癒される人もいるだろうしね。

六代目・円楽として

戦後のラジオでちっちゃい頃から落語聴いて、隣り近所が下町で、落語的なお

好きでやってるんだけど一歩踏み出せなかった人達ね。おれのまわりにも先輩方含めて沢山いますよ。その気持ちがぼくは非常によくわかる。というのがぼく自身、もしあの時、師匠が背中押してくれてなかったらプロになってなかったろうし……。

じさんおぼさんがいる。そんなところで生まれ育ったから。そんなでもって自分が作ってきた個性、それは多分、円楽にはなかったけど、楽太郎をずっと見てきた人には、楽太郎というキャラクターがまだ強いわけですよ。

これからは円楽づくりをやんなきゃいけない。でも円楽づくりを期待してる人は、多分ね、先代を見ちゃうから。自分でも泣いちゃうような人情味の円楽。そうじゃなくて、おれは人情味もやれば、バカバカしい斬も両方できるように。名人にはならないけれど達人にはなってるってね。

達人でなんだったら、それは人気であったり、パリエーであったり、初めてのお客様を引く張るための材料であってもいいわけだ。そういう意味では、場所が与えられている数少ない人間だから露出を大事にしてる。とりあえずお洒落はして、若い人たちの作る番組にも出て行つてね。そこへ出ることを、呼ばれた時に嫌がらずに出ていくことが、それがおれの役目だと、今んとこ。

それから業界への恩返し。年齢的にも後十何年だとか思ったらば、底辺広げなきゃいかんっていう。博多の天神落語祭りももう五年目に入って東西でやるようにもなるようになったし、お客さんも来るようになったから。こういった仕掛けもやりながら、責任もつてどこまでいけるかね。そうすれば落語っていうのは消えないでしょう。

円楽、斬の世界

やっぱり人間のテーマのあるもの。

それから自分自身が乗り移れるものね。だからぼくは与太郎やる時、自分でいうのもおかしいけど、どうしても与太郎が二ンにないでしょ。そしたら利口な与太郎を作ろうと思つて。「おじさん、こら何かい、拡大再生産における利潤の再分配……」「なにを言ってるんだよ。お前は時々、わかんないことをいうね」てね。それは今までのルールにはないもん。そちで責めるかいいみたいなの。

落語ってそうなんだよ。どいつにスポットを当てるかもつてね。たとえば、くすぐりの作り方でも、自分がやってきた中でいうと、明烏みたいな斬でね、明烏っていうと、われわれの世代は桂文楽っていう頭がある、それをどうやって変えようかって。

まず若旦那をすぼつと変えて、で、くすぐりをばらして、こっちにくつつけたりいろいろなことやって、(金原亭)馬生師匠に頼んで教わつたり、許可を得たりね。そうやって自分の明烏つくつたらば、遊べるんだよね。どこかを誰かが触つて、その時代の連中がおもしろがって、さらに違うものをこしらえていく。落語はその切磋琢磨なんですよ。

昔ね、大阪行つて聴いてもらえなかったんだよね。あんまり腕もなかったし、顔



もなかったし。でも今はね、東西どこいってもいいお客さん。よくウケるし、昔は「江戸のものが気取つてからに」ってね。(立川)談志師匠が当時、角座で、「聴きたくないやつは帰ってくれ」っていったら、わざわざお客が前まで来て、「あほー」っていつて帰つてく。談志師匠は芝浜やったんだけど、うちの師匠は利口だからね、喧嘩しちゃいけないよって、前に出て軽い斬やつてね。「いいんだよ、二十分やりやいいんだから」って。出てるでしょ、性格が。でもね、二人ともそうはいつても過剰防衛の人ですよ。過剰防衛っていうのは落語守るんじやなくて責めた人。非常に過剰防衛してくれた人たちですよ。だからぼくは全方位外交で。大阪も含めて、全方位に日本中に落語をね、せっかくブームになってきたんだからもう一回。大事にしてね。

上方落語と江戸落語

香りは違うけどね。気質の違いはあるけれど乗り越えられるでしょ。ぼくなんか、桂米朝師匠の一文笛をさごば兄さんに教わつて、今やってるけど、江戸弁にしてみるとまた違った雰囲気が出てくる。三枝会長の作つたものでも、小朝で

も正蔵でも、みんながやり始めて。私もゴルフ夜明け前教わってね。いつかは自分なりに遊べる癖にしたいね。

でも、もつと違うのは、人間としての個性差だね。同じ癖聴いても、それぞれ違うのはフラなんですよ。だから、ぼくには(三遊亭)小遊三さんはできないし。フラってのは個性で、個性ってなんだっていうと口調です。培ってきた性格、育ってきた環境、そういう全てのエッセンスを含めて。

だから社会人の方がやれば、またみんな口調が違うはずだし、そんな中で、表現力や楽しみ方、裏打ちされた姿勢、いろんな見方ができる。やつぱり社会人になって経験をつんでもう一回勉強しようとする、人生の糊代が無駄にならないですよ。落語に対するアプローチだって、プロのを聴いてそのまま憶えてやる人と、糊代があつて自分が咀嚼してやる人とは違うはずだから。だから社会人がやる落語っていうのはおもしろいし、楽しみにしてるんです。

社会人落語の可能性

落語っていうのは、寄席の問題とかもやつぱりあつた。けども繁昌亭しかり、ぼくの襲名披露もしかり、初めての方が随分来てくれました。ひとは落語に触れる場所が増えてきたこと、後はとつき易さ。それは改めて音楽を聴こうとか、自分でやってみようとか、芝居だつて同じで、歌舞伎なんかでもいろいろ下調べしなきゃ、ぼんと入れないでしょ。落語は何にもいらない。おもしろいか、うまいかしかないんだから。演じる場合だつて作品に助けられるか、自分が作品に投影



していくかって、この二つしかない。同じ癖を何度聴いても飽きないっていうのは、筋は同じでもどこ触ってるかが見えてくるから。だから社会人としての触り方っていうのは、社会生活すると経験的濃度が変わってくる。そこ中でもって、われわれが気づかない落語へのアプローチがあるんじゃないかって。

それと三枝会長の考えは現代の円朝に近いよね。自分の足で稼いで自分でこさえてね。同じように、今度はその時代の新しい癖をつくるグループができて、それをやるグループができて。そういうのを組織的に社会人の中なんかでやってくると、逆に教えてくれというプロの癖家が出てくるかもしれない。それもおもしろいですよ。アナログ的デジタル双方向つてやつですよ。双方向できるんじゃないかな。

三枝・円楽 二人会

お互い同じとこへ出たことはあるけれど、二人会は初めてだね。だから何やろうかなと思つて。東京らしい人情ものやろうか、二席ずつだったら、三枝さんの創作落語に對抗して、もつと違うのやろうか。楽しみだし、おもしろいですよ。ぼくにとつては刺激があるし、お互いに刺激になればいいね。

落語の手引き(皆様へ)

とちつたつてそんなものは恥ずかしいものじゃないし、楽しんでやってください。ひとつ助け船を出しますよ。忘れたら作りやいいんです。筋知つてんだから追つちやだめ、知つてるとこに戻つてくりやいいんだから。落語に対する自分の座右の銘っていうのは、忘れたら作れつていうのと、後ね、気をつけよう、仕込み忘れとサゲ間際つての。仕込み忘れると慌てるしね、サゲ間際、気をつけねえと囁むしね、この二つ。これさえありや大丈夫よ。

キリトリ線

第三回 社会人落語日本一決定戦

※入場券は本誌切り抜きのみ有効となります。
【日時】2011年9月18日(日) 【開場】16時 【開演】16時30分
お手数ですが希望者は事務局までお問い合わせ下さい。

【交通】阪急宝塚線「石橋」駅 西口徒歩8分 駐車場あり(無料約70台) ※本券で5名様まで有効
【問合せ】社会人落語決定戦大会事務局 TEL:072-753-4443 【主催】社会人落語日本一決定戦実行委員会
【公式ホームページ】<http://www.kamigatadairakugosai.com/> 【発券】池田・落語みゅーじあむ

キリトリ線

第三回 社会人落語日本一決定戦

Schedule
スケジュール

全国の社会人落語家
約150名

桂枝三郎

林家染二

林家染二

落語みゅーじあむ／池田会館／
池田駅前会館／栄町二番街ゆいゆいフラサ／
コミュニケーションセンター／いけだピアまるセンター

池田市内6会場

桂九雀

予選 9月17日(土)
11時開演(開場10時30分)

桂春之輔
笑福亭呂鶴

決勝進出者約10名

大会実行委員長
倉田薫

池田市民文化会館
アゼリアホール

藤本義一

決勝 9月18日(日)
16時30分開演(開場16時)

六代目
三遊亭円楽

大会統括
桂三枝

7/10 事前審査
応募締切

事前審査

8月上旬
結果発表
出場者決定

9/17 予選会
審査発表

9/18 決勝戦

社会人落語日本一
決定戦実行委員会



大阪府落語協会
上方落語協会

大阪府

社会人落語決定戦大会事務局(落語みゅーじあむ内)
お問合せ: 072-753-4443

桂三枝



三枝・円楽 二人会



六代目
三遊亭円楽

2011年9月18日(日)【開場】11時【開演】11時30分 3,000円(前売) 4,000円(当日)

池田市民文化会館(アゼリアホール) [HP] www.kamigatadairakugosai.com

全席自由席 大阪府池田市天神 1-7-1 Tel:072-761-8811

社会人落語日本一決定戦 検索

チケット発売/お問合せ | [CNプレイガイド] ☎0570-08-9999 (10:00~18:00/年中無休)

セブン-イレブン 店内マルチコピー機 セブンチケットにてご購入いただけます。(セブンコード012-106)

[HP] <http://cncn.jp/RAKUGO/> [落語みゅーじあむ] ☎072-753-4440

ケータイからも
購入できます▶



※都合により、出演者が変更になる場合がございます。出演者及び演目に変更のある場合も、チケットの払い戻しはできませんので予めご了承ください。

文月

【休館日】
5日(火)
12日(火)
19日(火)
26日(火)

7月8日(金)

「三枝・円楽二人会」チケット発売

7月9日(土) 14時

第56回落語みゅーじあむ寄席
笑福亭 飛梅「八五郎坊主」
林家 染弥「茗荷宿」
笑福亭 呂鶴「おたのしみ」

【本戸銭】前売1000円 当日1500円
※前売券発売中(電話予約可) ☎072-753-4440

7月16日(土) 9時30分 正午

第5期アマチュア落語講座(初級)
アマチュア落語講座(中級・上級)

7月23日(土) 9時30分 正午

第5期アマチュア落語講座(初級)
アマチュア落語講座(中級・上級)

7月30日(土) 9時30分 正午

アマチュア落語講座(中級・上級)

葉月

【休館日】
2日(火)
9日(火)
16日(火)
23日(火)
30日(火)

8月6日(土) 9時30分 正午

アマチュア落語講座(中級・上級)

8月13日(土) 14時

第57回落語みゅーじあむ寄席
森乃石松「播州巡り」
笑福亭 扇平「代り目」
林家 染二「おたのしみ」

【本戸銭】前売1000円 当日1500円
※前売券発売中(電話予約可) ☎072-753-4440

8月20日(土) 9時30分 正午

アマチュア落語講座(中級・上級)

8月27日(土) 9時30分 正午

第5期アマチュア落語講座(初級)

落語みゅーじあむ
Event Schedule